

実践『ペルソナ』通信 (No.72)
「実践女子大生のロック画面」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「携帯のロック画面」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斉藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

今回の調査を通して、ほとんどの学生がロック画面を初期設定から画像を変えていることが分かった。ロック画面にしている画像は様々であり、設定の際は自分の好みや趣味によりロック画面を設定していることが明らかになった。またロック画面は時間や通知を確認するためだけに見ることが多く、それに伴い約9割の人がロック画面のみを開くということが分かった。

調査結果のポイント

(1) 時間を確認するのに、時計ではなく携帯のロック画面を見る人が多数

ロック画面のみを見る人が90%以上いたが、その多くの理由は時間の確認であることが分かった。時計を付けていてもロック画面で確認する人も多いと考えた。

(2) ロック画面へのこだわりが強い人が多数

ほとんどの人がロック画面を自分の気に入っている画像に変えていることが分かった。サイズ感やデザインなど自分好みに加工する人も多くいた。

(3) ロック画面に変える頻度は意外と低い

ロック画面をほとんどの人が気に入っており、毎日目にするもので画面に慣れるということもあって、ロック画面を変える頻度は少ない人が多いという結果になった。

(4) 他人に見られたくない人はプライバシーを気にしている

他人にロック画面を見られることを意識していると答えた人のほとんどが、他人にプライバシーに関わる写真を見られたくないことから自分や身内の写っている写真はロック画面に設定していなかった。

調査概要

- ・調査対象：実践女子大生（全学部・全学年）
- ・調査方法：Google フォームによるインターネット調査
- ・調査期間：2018年6月4日～6日
- ・有効回答者数：118人
- ・回答者の属性：1年生 19%、2年生 22%、3年生 55%、4年生 3%

本件調査担当

実践『ペルソナ』研究会

3年 久保田南

石浜綾夏

阿部しおり

石川莉菜

調査結果データ

(1) 女子大生にとって携帯電話はなくてはならないもの

1日に携帯を見る合計時間の質問に対して、1時間以内が3%、2-3時間が8%、3-4時間が19%、4-5時間が20%、5-6時間が15%、6-7時間が13%、7時間以上が22%という結果になった（図1）。3時間以上が約9割を占め、7時間以上の人も20%以上であることがわかった。現代の女子大生は携帯電話がなくては生活できない状況にもあると言える。

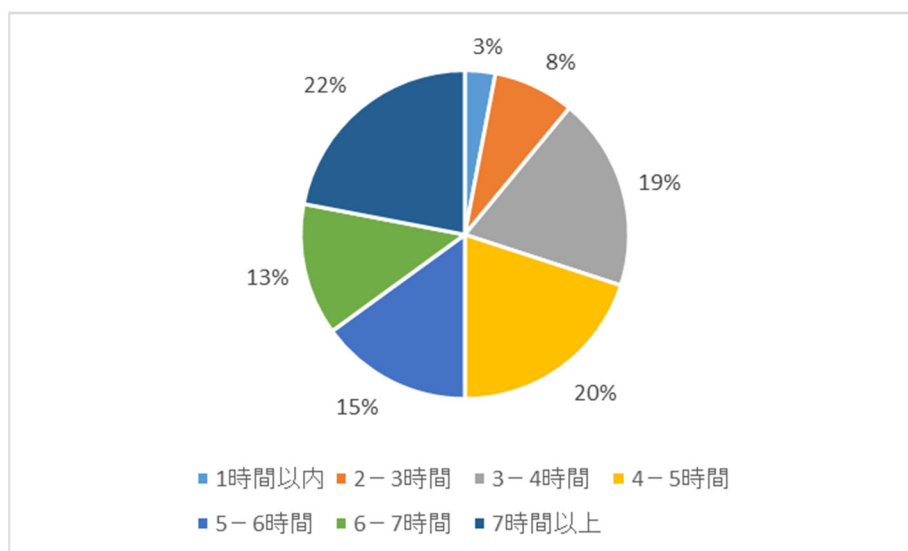


図1 携帯電話の1日の使用時間 (n=118)

(2) ロック画面のみを開く機会があり、「時間確認」をよくする

携帯電話を使う際ロック画面のみを開くことがあるか、という質問に90%以上の人が「はい」と答えた（図2）。

またその目的は、時間を確認することが70%、通知の確認が24%であった。通知や時間を確認する際、必ず目に入るのがロック画面の壁紙だと言える（図3）

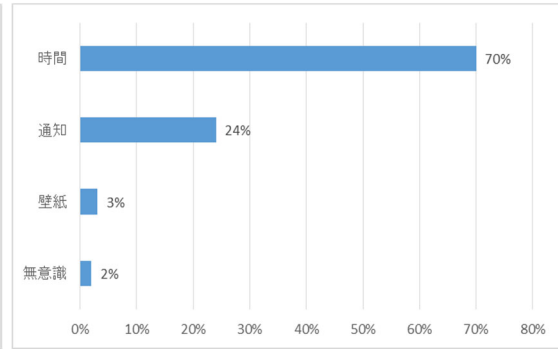
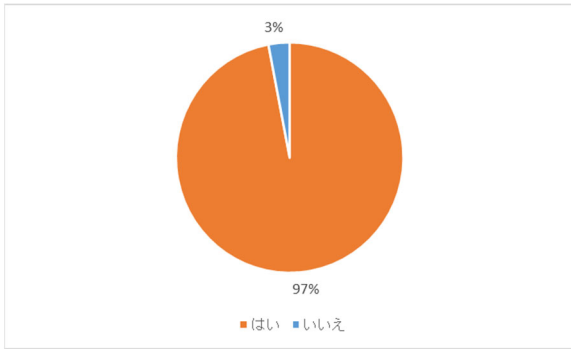


図2 ロック画面のみを開くときがあるか (n=118)

図3 その目的は何か (n=115)

(3) ロック画面とホーム画面の壁紙は違う

ロック画面とホーム画面が一緒かどうかの質問に対して、90%以上の人が「いいえ」と答えた。ほとんどの人がホーム画面とは違う壁紙をロック画面にしていることがわかる(図4)。

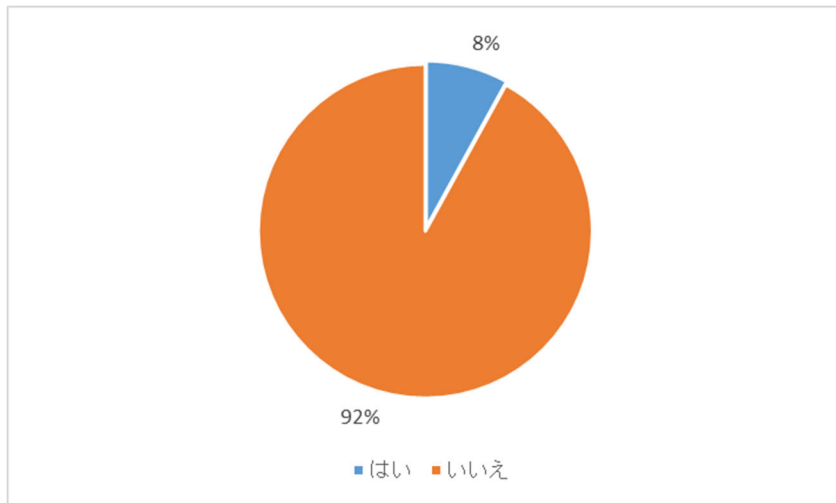


図4 ロック画面とホーム画面は同じものか (n=118)

(4) ロック画面は好きな人物や趣味に関するものがほとんど

芸能人、モデル、アーティスト、スポーツ選手という自分の好きな人物をロック画面にしている人が約半数を占めていた。また自分を含む人物を設定している人は10%と予想よりも少ないことがわかった。

他にもイラスト・アニメ、動物・ペットが20%を占め、スケジュールなどの少数派も確実にいることがわかった(図5)。

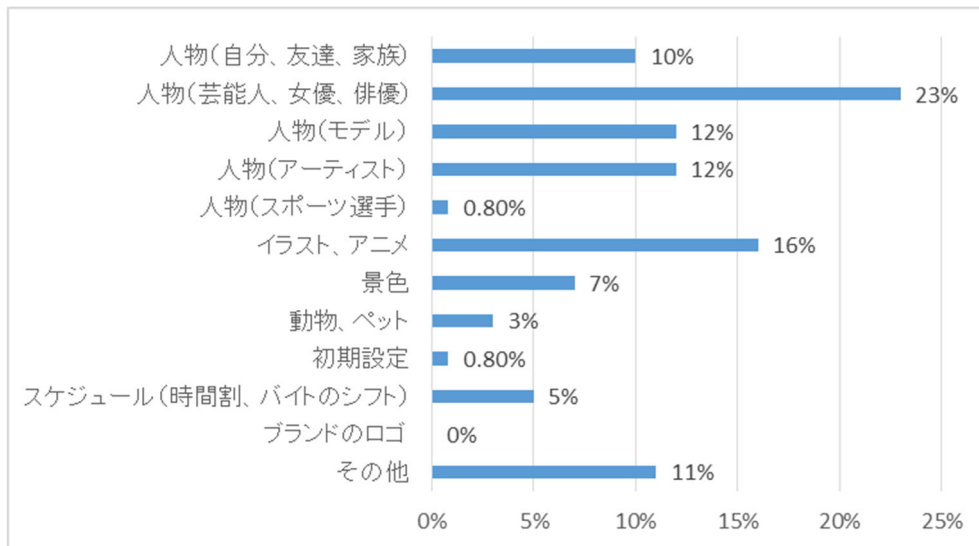


図5 現在のロック画面は何か (n=118)

(5) そのロック画面にしている理由は「可愛い」から

この質問に対して多くの答えが「可愛い」「好き」というものであった。自由回答だったため似たような「憧れ」「お気に入り」のような意見もあった。全体的に自分の気に入っている画像であるということが分かる。ロック画面を自ら変更し自分の気に入ったものにする人に対して「変えるのが面倒」「良い画像がない」といった理由で初期設定のままの人に分かれることが分かった(図6)。

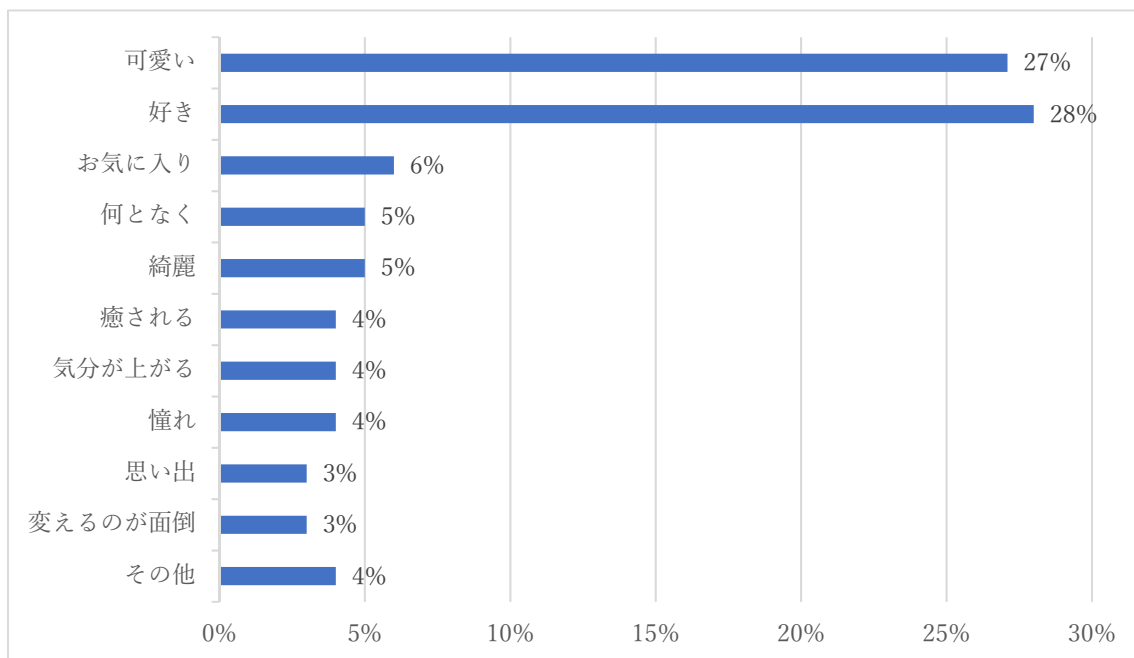


図6 ロック画面にしている理由 (n=118)

(6) ロック画面を変える頻度は「3ヶ月～半年」の期間

ロック画面を変える頻度は主に3ヶ月～半年の期間が多いことがわかった。短期と長期

で比べてみると、週に1度などの頻繁に変える人よりも1年以上経ってから変える人の方が多いため、ロック画面はしばらく変えることがない人の方が多いということがわかった(図7)。

また、ロック画面を変える頻度が低いと言える「半年に1度」「1年に1度」「それ以上」の人の特徴を調べるためロック画面の内容の分析をした(図8)。

その結果「モデル、芸能人」が圧倒的に多い42%だった。自分の憧れであるモデルや芸能人をロック画面に設定している人は、自分が憧れ続けている限り変えることはないのではないかと考えた。目標のようなものでもあり、ロック画面が自分自身のモチベーションに繋がるため長期的に同じロック画面なのではないかと考えた。

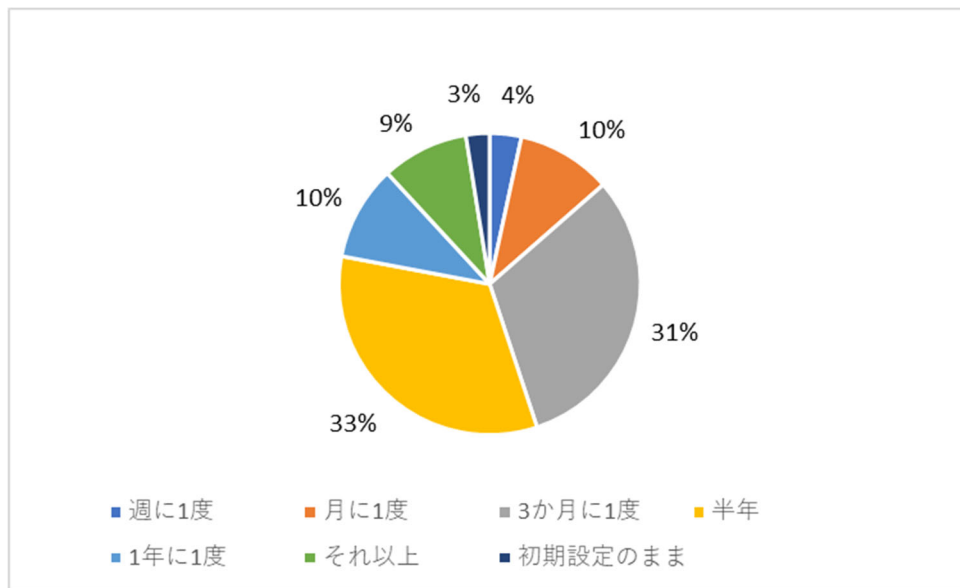


図7 ロック画面を変える頻度はどれくらいか (n=118)

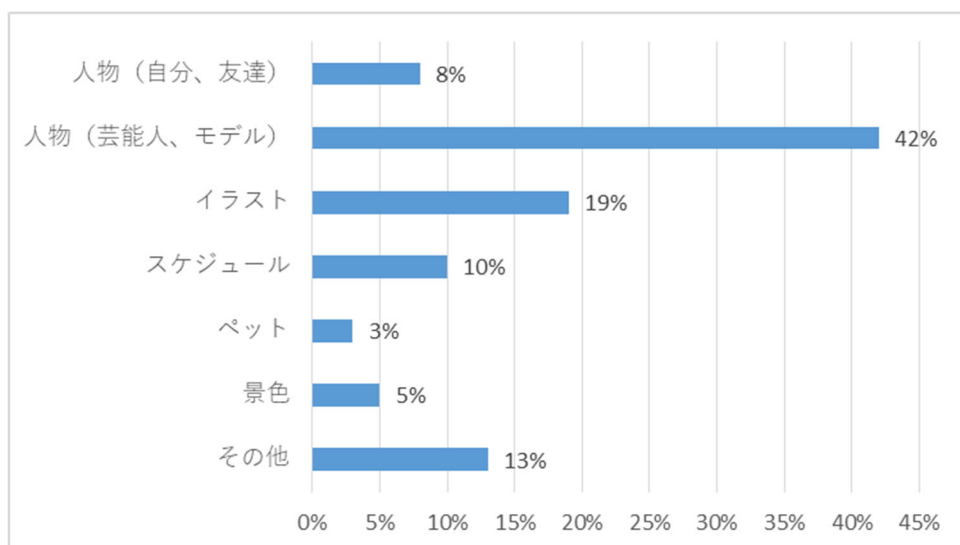


図8 ロック画面を長期で変えない人(半年以上)のロック画面 (n=62)

(7) ロック画面の画像を加工するかは半分の割合

この質問に対する答えはほとんど差がなく、加工をしている人もしていない人も偏りがあまり見られなかった（図 9）。

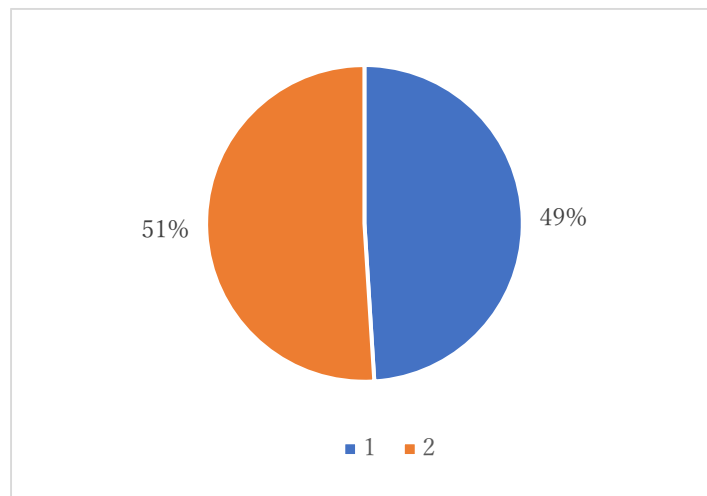


図 9 画像の加工はしているか (n=118)

(8) ロック画面を見られることは 4 割の人が気にしている

他人にロック画面を見られることに対しては半数以上が意識していないと答えた。自分の気に入っている画像として設定しているひが多いため、人からどう見られるかという点については気にしないひが多いことがわかった（図 10）。

また、ロック画面を他人から見られることに意識する人は、35%という結果になった。この結果に対して、ロック画面の内容と関係するものがあると考え分析した。（図 11）。

人物（芸能人・モデル）に設定している人は 65%で、多くの人が自分の憧れの人物に設定していた。他のロック画面も自分好みのイラストや、ペット、景色などで他人に見られても気にならない画面に設定していることが分かった。自分を含んだ人物をロック画面に設定する人は少なく、全体の 10%であった。ロック画面は見知らぬ人の目に映る可能性もあるため、自分や友達の顔はプライバシー保護という面であまり設定する人がいないのではないかと考えた。

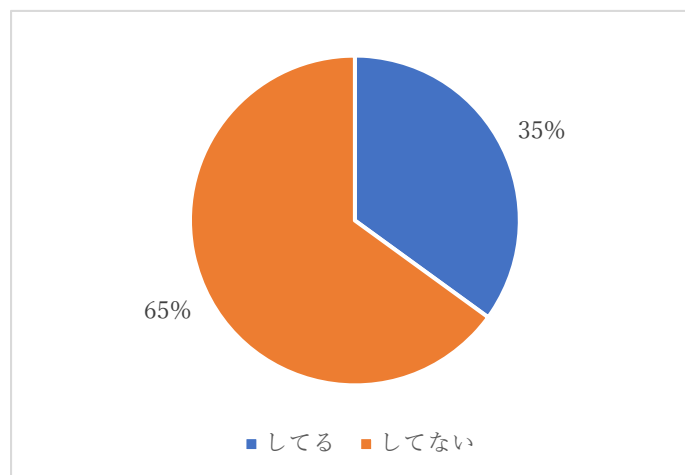


図 10 他人に見られることを意識しているか (n=118)

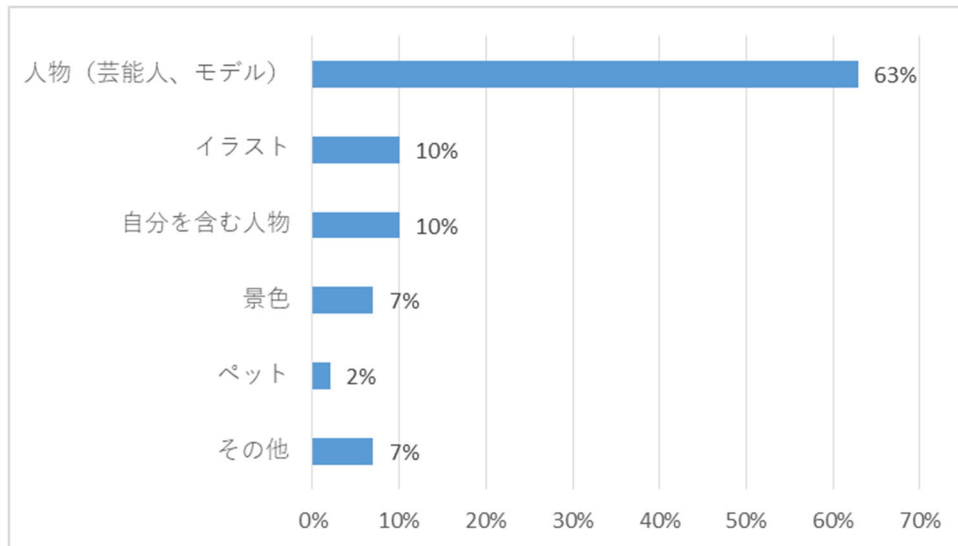


図 11 他人に見られることを意識している人のロック画面（n=41）

（9）ほぼ全員が自分のロック画面を気に入っている

この質問に対しては9割以上の方が気に入っていると答えた。気に入っているからこそ、変える頻度も少ないのではないかと考えた（図 12）。

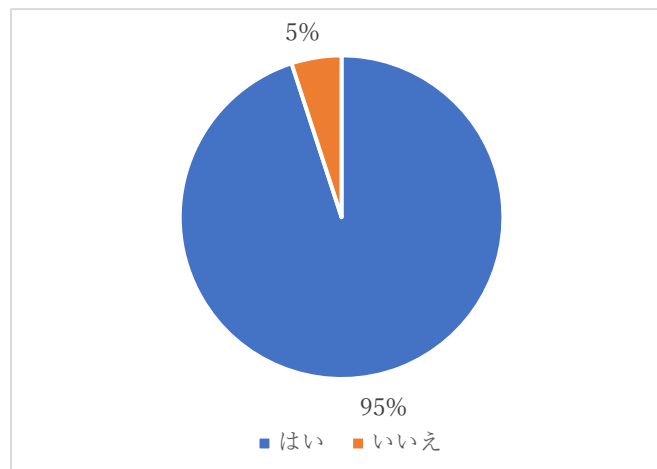


図 12 ロック画面を気に入っているか（n=118）

考察

今回調査したほとんどの人が自分のロック画面を気に入っていると回答した。また、9割以上の方がロック画面のみを開くことがあり、そのうち7割近くが時間を確認するためと回答している。携帯を時計代わりに使用する人が多く、よく目にする画面のため、自分の気に入る画像を選択していると考えられる。ロック画面にしている画像について、芸能人やモデル、イラスト・アニメなどが多かった。ロック画面にしている理由として「好きだから」「可愛いから」という意見が多くあげられた。このことより、ロック画面には自分の趣味や好みが見られていることが多いと考えられる。

また、初期設定のままにしている人は今回の調査では1人しかいなかった。そして9割

以上がホーム画面とは違う設定をしている。このことより、ロック画面には何かしら自分のこだわりがあると考えられる。ロック画面を人に見られることを意識する人が4分の1以上いたが、その人たちは自分のお気に入り画像の中から、他人に見られてもいい画像を選定してロック画面に設定していると考えられる。何を意識するのか、どんな基準でその画像を選んでいるのか疑問に思った。